てい

本経済に対し、世界からの関心が集まっ始めた1980年代前半は、絶好調な日

## 日本的金融システムに ついて考える

(大学政策学部教授)

規模拡大行動で有効性を高められている きの金融政策の有効性を検討したもので 検証し、そのような銀行を前提としたと銀行の行動原理をモデル化し、データで ことを論じて、悦に入っていたものです。 本銀行が選んできたものが、 「日本的な」規模拡大を最重視する民間(日本的な」規模拡大を最重視する民間が自身が最初に手をつけた研究も、のでしょう。 いくつかある政策手段のなかで日 民間銀行の

としても、企業経営の実践にも活かされの研究成果が、ビジネススクールの教材を営の研究センターが設立され、そこで経営の研究センターが設立され、そこでの研究は関が、ビジネススクールの教育やした。いくつかの大学では日本の経済や を用いて仮説検証する論文が、英文のレつかの仮説に整理し、計量経済学の手法タインバンクや株式持合の機能をいく要な研究分野にもなりました。 ジャストインタイムなどが、 徴をさがしその機能をさぐることが ジャストインタイムなどが、代表的なもていきました。トヨタのカンバン方式や さがしその機能をさぐることが、重ました。「日本的な」システムの特

# 私が大学院に入学し研究仕事をかじり

たと問題視されるようにさえなりましたと問題視されるようにさえなりましたと問題視されるようにさえなりましたと問題視されるようにさえなりましたと問題視されるようにさえなりました。バブルを発生・加速 られます。日本経済に対する評価が変わアジア研究センターに改編された例もみ た。日本研究のセンターであったものが、 本経済に対する関心が薄れてしまいまし バブル崩壊後の1990年代には、 日本経済が不調になった

でスローガンとして掲げられる基準からでスローガンとして掲げられる基準からでスローガンとして掲げられる基準からでスローガンとして掲げられる基準からで カーガンとして掲げられる基準からで スローガンとして掲げられる しょう かいま しょう かいま しょう しょう はんしょう はんしょく はんしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしんしょく はんしん はんしん はんしんしん はんしん はんしん はんしんしん はんしん はんしんし 人はいました。株式持合による経営者監けではありません。80年代の高評価の時返すように、評価が逆転してしまったわ返すように、評価が逆転してしまったわ

つ企業の業績ともたない企業の業績とを 融研究者は、たとえばメインバンクをも不調になった日本経済を前にして、金 メインバンクの機能を再確認

ん。 を支払わされているかもしれません。長定の銀行からの支配関係により高い利子があるとされていたのですが、むしろ特 率な投資が見逃がされ、不良債権化して 期にわたるなれ合い関係によって、 ることで企業の金融コストを下げる機能 情報生産コストを下げリスクをシェアす しようとしました。メインバンクには 非効

## 3 日本的なシステムのゆくえ

ている仕事です。それを検討し、金融しいのでしょうか。それを検討し、金融しいのでしょうか。それを検討し、金融をがのでしょうか。それを検討し、金融を通されることが日本経済にとって好ま いました。どのような組織によって資金以降の金融研究者の大きな課題となって以降の金融研究者の大きな課題となって なくすべき点残すべき点をはっきりさせ 「日本的な」システムの良い点悪い点、

システムの雇用面でも、 究結果を待っている暇などありませ たり解消されたりしています。 メインバンク関係や株式持合は弱ま 企業や銀行の現場では、 は非正規雇用への移行 長期雇用から短 日本的 悠長な

> でもない、と元に戻す動きもあるようで い、代わりに欧米のよさを得られたわけれによって、日本的なよさを失ってしま成果主義の導入もみられました。でもそ

> > 効な手段なのでしょう

要だと思われます。 今後もメインバンクのような拠り所は必 る可能性はなくなりません。ですから、 に、 ローン問題から発生した金融危機のよう金融でも同様で、今次のサブプライム 市場からの資金調達に不都合が生じ

## 4 地域金融の危機

は、これまで通り、地銀、信金、信組という地域金融機関に頼らざるをえないでいう地域金融機関に頼らざるをえないでいう地域金融機関にがな金融と実態経滞っています。このような金融と実態経滞っています。このような金融と実態経済の関係に変化があるようですが、いつ因果関係に変化があるようですが、いつ因果関係に変化があるようですが、いつ どんな地域でも、重要です。 大都市圏以外の地域の中小零 一細企業

の再構築をめざそうというのでしょう。ています。地域で「日本的な」システム ンキングという名前で、 金融行政の側は、 のメインバンク機能を強化しようとし もそれが本当に地域経済を再生させる ます。地域で「日本的な」システム リレー 地域の金融機 ションシップ

で

れませんので。は、われわれの悠長な研究を待ってはくは、われわれの悠長な研究を待ってはく誤中、といったところでしょうか。現場に、有効な方策を求めていろいろ試行錯 も関わっている研究分野です。正直言 れているような話題が、近年私がもっと金融」(日本経済新聞社)で取り上げら 『リレーションシップバンキングと地域私も執筆した筒井・植村編(2007) 5

## 政策学部生に教える金融

5

政策学部の初めての卒業生を送り出と話すように努めています。 関係の話を多目に取り入れて、 のですが、事例中心に、政治状況や国際会計財務の知識を前提とするのは難しい 学部のように、数式モデルやデータ分析、政策」を講義しています。経済学部や商 政策学部では、3年次生以上に「金融 入れて、生き生き人れて、生き生き

生きと話すことができればと思っていま 制度の見直し事例などを、こちらも生き ることになりました。地域金融の話や法 し、いずれ隔年で「金融制度」も講義すた2008年に、新カリキュラムに移行政策学部の初めての卒業生を送り出し

0 ま としか 3

サブプライム問題に端を発する金融危機 年の夏ごろから顕在化しはじめた米国のスワン理論」と呼んでいます。2007

企業がリスクマネジメントされています。

を行う上

に、金融機関を中心に企業で改めて認識

メント

の重要性が、

近年の大不況を契機

したり低減する工夫を行うリスクマネジ

月比でマイナス38%と日本の総生産が約と発展し、100年に1度という世界的と発展し、100年に1度という世界的と発展し、100年に1度という世界的と発展し、1008年9月にリーマンショックは、2008年9月にリーマンショックは、2008年9月にリーマンショック

不可欠です。

例えば、

金融機関の主たる

金利、

リスク要因として、

率モデルや統計数理的な解析方法が必要

:価する必要があり、そのためには確さまざまなリスクを客観的、科学的

### 転ばぬ先の杖 リスクマネジメント

い白鳥が発見されたことで、鳥類学者にられていましたが、オーストラリアで黒られていましたが、オーストラリアで黒では話題になっています。かつて、白鳥

この出来事をたとえに、従来からの知崩れることになりました。タレブ氏は、

るリスクを想定した上で、リスクを回避ん。そのようなさまざまな事態が発生すなどによる大災害が起こるかもしれませ地震、新型インフルエンザ、テロや戦争象ではまりです。

大きな衝撃を与え、

彼らの常識が大きく

象ではありませんが、今後、地球温暖化、マネジメントです。ブラック・スワン現

スクコントロールを行うといったリスク駆使して将来発生することを予測し、リ私の研究は、統計数理的な解析方法を

ました。日本語にも翻訳され、

金融業界

リスクマネジメント

のベストセラーリストに17週間とどまり

し、米紙ニューヨー

ク・

ン現象が起きたことです。態が生じたこと、まさにブラック・スワになったり、大幅に値崩れするという事

たり、大幅に値崩れするという事安心していた金融商品が、無価値

ク・タイムズ 2007年

知でしょう

「ブラック

。デリバニスワン」

ティブ・ト という本をご存

レー

価格が暴落する危険性は極めて小へと発展することとなったきっか低下しました。このような未曾有

へと発展することとなったきっ低下しました。このような未曾

さい

٤

-としての経験を持つ大学教授のナシー

・ニコラス・タレ

象が発生し、その現象が人々に多大な影識・経験からでは予測できない極端な現

響を与えることを総称して「ブラック・

つ不確実性のある現象であり、モデル化れらのリスクを評価する対象は、複雑かれらのリスクを評価する対象は、複雑かれらのリスクを評価する対象は、リスク予モデル化することができれば、リスク予・リスク、⑤災害・環境リスクが挙ョナルリスク、⑤災害・環境リスクが挙 な対応に沿 ョナルリスク、⑤災害・環境リスクが挙なミスなどにより損失を被るオペレーシ らこそ信頼性が高いわけです。 観的にものごとをみる科学的な方法だ するには、 で売買できない流動性リスク、 産などを売買する際に、希望した価格 が滞るなどの信用リスク、③証券や不 従って、 統計数理的な解析方法が重要で、 沿ったモデルが 必要とされま理論を基礎としつつも現実的 そのための有効な方法とし 元本の返済や金利の支払 ④人為的 か

が取り組んでいます研究テーリスク評価の中で、とりわ リスク評価です。 とりわけ、 マは、 今、

信用リスク

直接的あるいは間接的な損失を被るリス払義務を履行できなくなる状態)により (資金の借り手や金融商品の発行体が支したが、信用リスクとは、デフォルトすでに信用リスクについて少し触れま

> 用リスおり、 となって 年以降、企業倒産が著しく リスク評価の精度の します。 金融機関では融資・ います 向上 上が緊急の

をした場合の損失の大きさに関する回収産した場合の損失の大きさに関する回収産した場合の損失の大きさに関する回収産した場合の損失の大きさに関する回収産した場合の損失の大きさに関する回収産した場合の損失の大きさに関するタイミングリスク、③企業が倒に関するタイミングリスク、③企業が倒に関するタイミングリスク、③企業が倒に関するタイミングリスク、③企業が倒 いた枠組みで考えます。整されるといった無裁定価格理論に基づランチ)機会を許さないように価格は調 スク無しでリターンが得られる(フリー証券や金融商品の価格評価をする際にリ に関するタイミングリスク、③企業が倒スク、②企業倒産の発生時点の不確実性か否かに関する不確実性に関する倒産リ 信用リスクは、 ①企業倒産が発生する

非対象性が大きい、企業間のデフォルトに関わる個別要因の影響が大きく、裁定に関わる個別要因の影響が大きく、裁定しかしながら、信用リスクとの関係でしかしながら、信用リスクとの関係で りません。一般に理論は、現象の理解の的には、この理論は必ずしも有効ではあ相関の把握が難しいなどの理由から現実

日本においても2008 投資資産の信 増加してきて

な解析方法が極めて重要となります。 Mark to the realityに沿った統計数理的 実際の現象を把握する方法、すなわち、 れたサブプライム問題がその良い例でけが付与されていた金融商品が脆くも崩可能性が低く安全であるとして高い格付 ており、 住宅ロー な問題となります。 を応用する場合、 象を越えることができません仕方に深い洞察を与えますが す。とりわけ、 ら乖離した理論は、 従って、信用リスクを評価する上で、 ーンのリスク分散が十分になされとなります。裏づけ資産としてのする場合、現象からの乖離は深刻りわけ、信用リスクの評価に理論 優先劣後構造により損失を被る 机上の空論となりま の、理論は関 現象か

おわりに

究対象としたいと考えています。 金融・保険分野のリスク評価だけでな 象に対する統計数理的な解析方法を駆使が、リスクマネジメントを含めた社会現 した科学的な研究は、まだ発展途上です。 信用リスクについて概説してきました 物品の販売に関するマーケティング、 始まったばかりであり、今後、研商品のブランド評価の分野への研

ひろし)

私は校定訳注の作業を行い、楚簡の古

り越えて、

やっと辞書を頼りに原典を読

幾つも苦しい

山をの

手習いでしたので、

した。帛書本の約三分の一の分量です。 から戦国時代の「楚簡老子」が出土しま 存在したか否かは、判断を留保しました。 核の部分を語った老子以外に、編纂者が 開していることを論証しました。ただ、

それから20年後、今度は湖北省の郭店

語の学習は、全くの独学で、かつ中年のました。サンスクリット、後にはパーリとインド仏教から学び直そうと思い立ち

馴染みがなく、それならば、いっそのこ感しました。かといって、仏教漢文には

力を目の当たりにし、研究の必要性を実滞在した時に、中国における仏教の影響

本を軸に戦国末期に新たに編纂されたも う結論を得ました。「帛書老子」は楚簡 簡潔かつ明解な文章で書かれているとい あり、それは、ほぼ完全な韻文から成り、 部分こそが、「老子」の核となる部分で

> り違和感なく接することが出来ます。そ ド原典と対照して読めば、漢訳仏典も余 むことができるようになりました。イン

かねて興味をおぼえていた空の思

### 中国古典を読み解く試み

堆漢墓から、「帛書老子」が出土しまし

そんな折、

1970年代に、湖南省馬王

つつも、近寄りがたく感じていました。 の書とされます。私もその主張に引かれ 言の朴訥とした文章で綴られ、古来難解

ます。その一つは、「老子」の研究です。

ています。それが後の幾多の異本、注釈

-をもっ

これらのことを

私は、並行して幾つかの研究をしてい

た。これは現行本と同系統で、かつ重要

核として、外縁の現実世界に向かって展の思想が、万物の根源「道」への復帰を

に興味をもち、その読解を通して、老子 な相違を含む写本でした。私はこの帛書

ろが20数年前、

一年間西安(旧長安)に

身近な存在ではありませんでした。とこ

には、そもそも仏教は、

関心はあるが、

仏典です。中国古典を研究対象とする私

私のもう一つの研究テーマは初期漢訳

初期漢訳仏典を通してブッダに迫る 早期に完成したいと考えています。 再検証し、「帛書老子」の全校定訳注を

迦)の思想に近づくように努めました。 若経」や「法句経」を通してブッダ(釈 「悟り」「涅槃」「彼岸」などの考えは、

訳文です。そこに恐らく、 世の漢訳仏典とは違った、簡潔で明解ないます。三国時代呉の支謙の漢訳は、後の部分訳「義足経」の読解に取り組んで 言葉の最古の形を残す「スッタニパータ」 言葉で分かったつもりでも、結局はよく 分かりません。そこで最近は、 ブッダの語り 簡潔で明解な ブッダの

**人生の深層に触れる柳宗元の詩**口が反映されているのでしょう。

に、柳宗元の著作の主なものを通読した人々に親しまれています。私は若年の時 そのまま現地で
打歳の短い
生涯を終えま です。柳宗元は中央官僚の任にあった時第三は、中唐の文学者、柳宗元の研究 性の豊かさ等が印象に残っています。 ことがあります。詩の透明感、現実と向 した。唐宋八大家の一人として、 に、政争に巻き込まれて南方に左遷され、 かい合う真摯な態度、認識の深さ、感受 広く

柳宗元からしばらく離れまし 彼の、長篇古詩を中

> って自らの解釈を提示し、過不足のない行研究の吟味を厳密に行い、その上に立います。テキスト校定、出典の調査、先解を終えたものから順次訳注を刊行して らの詩の世界を築いて行きました。 をモザイクのようにはめ込みながら、 あるということです。 訳を付けるように心がけています。 を吐露したのではなく、 すべきは、 ・クのようにはめ込みながら、自たのではなく、出典のある語彙うことです。 彼は、自由に感情 注目

生の深層を素手でつかんだような、 自然の美が訪れます。そして時には、人現します。沈痛な心の表白の彼方にふと柳宗元の詩には、重層的な自己が姿を う多くはない彼の詩を読み終えたなら 味な生暖かさが詩に漂います。私は、そ 精神を再考察したいと思っています。 ば、続いて彼の散文を読解し、その散文 不気人

元代口語の過渡的性格とその魅力

況を、元代口語の過渡的性格の中で検証 文法に分離され、両者は別個のものとし て扱われて来ました。私はこの断絶の状 語文法は従来、古代漢語文法と近代漢語 野で、元代の口語文法の研究です。 比較的新しく着手 です。中国

> つあります。元代口語の読解に当たって動き、その中から新しいものが芽生えつ族の支配下に在って、言語も大きく揺れた会話文が多く収録されています。異民 と何ら異なることはありません。 せん。その点では、先に述べた古典研究 探索し、語法を確認することが欠かせま は、善本を調査収集し、一語一句典拠を た会話文が多く収録されています。るこの書物には、当時の民衆の溌剌 ことにあります。 20世紀末に発見されたテキストを読んだ は元代口語で記された「老乞大」という、 見つけたいと思い至りました。きっかけ漢語を統一的に理解できるような視点を 当時の民衆の溌剌とし 朝鮮の漢語教科書であ

い合っています。と同時に、現在に生き典は、みな同時代の問題と正面から向かのものですが、右に述べた四つの中国古るて、私の研究対象は一様に古い時代 く苦しい、また単調な読解作業の末に、 の言葉には、独自の輝きがあります。長 っています。深い印象を与えるそれぞれる我々の心と響き合う普遍的なものを持 何ものにも代え難いものです。 な言葉の輝きに巡り会えた時の

とへと導くミュージックセラピーの指針

乳児と母親が、

発見する (ウィニコット前掲書)」 「人は創造的である場合にのみ、

私の研究は、

## こころのかたちが 音になる

## ので、 療形態が成立し、 ックセラピーの訳語としては十分正しい

そこでは、 音を介して人を支えるということ 被治療者(クライエント)は治療者 に焦点が当たる。 音を介した精神療法、 的な定義はさておき、ここではひとまず されている。) ミュージックセラピーとは何か。 所属学科のコース名称として採用 と言葉のやりとりを重ねなが 言葉と同じ重みにおいて「音 通常の精神療法では としておきたい

どとわざわざ言う人はいない。それなのでは、音楽は人を癒すとか元気づけるなの生活の中に自然に溶け込んでいる国々ー。。音楽することmusicking、が人びと でなった〝音楽療法〟とは似て非なるも言えばそれは、日本で一時期プームにま のである。(注:「音楽療法」はミュージ て盛んに実践されるのだろうか。 になぜ、ミュージックセラピーという治 お国柄から生まれたミュージックセラピ ば即興の混声合唱や踊りが始まるような 家族が集えば賛美歌を歌い、 ピストの訓練を受けたことから始まる。 英国でミュージックセラ 医療や福祉の場におい さらに では、クライエン探し当てていく。 立ち オリジナルなストーリーとしての価値がトとクライエントが協同して作り上げたものでもない。むしろそれは、セラピス ものでも、 る。その即興音楽は、巧拙を評価される 音によってこころ模様を構造化する。ミの音をセラピストの音と絡ませながら、 ラピストの音に寄り添い、 ろの在り様を映し出しつつ、は自らの歌声に、未だ形にな ュージックセラピーの場に生まれる音楽 こころを構造化する言語表現 セラピストとクライエント双方から 現れる音が紡ぎ出す クライエントが、 作曲作品として一人歩きする

"対話』であ

与することを理論的に追究することにあ 楽のみならず芸術活動全般がクライエン らに、 るこのような音楽の意味を言語化し、私の研究は、セラピーの時空間を占 存するのみである。 トに〝語り〟を促し、自己の再構築に寄 さまざまな臨床場面において、 音さめ

演奏すること・playing・遊ぶこと

ように語っている。 うに語っている。「精神療法とは二つ英国の精神分析家ウィニコットは次の

クライエントが音を通じて建設的なセラ的世界を共有する仕方は、セラピストと 見なせるのである。 ピー関係を築いていくプロセスの類似と 成りえない未分化の情緒を交流させて内

治療者の領域とを重ね合わせることであの遊びの領域を、すなわち患者の領域と

もし、治療者が遊べないとしたら、

## 授業はまるごとセラピー空間

患者を遊べるようにする何かがまず必要 る。そして、もし患者が遊べないならば、 その人は精神療法に適していないのであ

適ぶことがなぜ必須なのかとその後に精神療法が始められる

いう理由は、のである。遊

であり、

が創造的になっていくからである。(『遊いう理由は、遊ぶことにおいてこそ患者

ぶことと現実』より)」

ウィニコットのいう「遊び」

私た

ること、 えている。

しかも二人以上が集まって演奏 しかし少なくとも、

を楽しむ行為は、

ウィニコットの遊びの

えている。しかし少なくとも、音を奏でちが日常的に捉えている遊びの概念を超

と向き合うとともに、 理念を伝えるとともに、 築のプロ 奏を体験することによって、自己の内面 るようなグループダイナミクスや即興油 系科目では、 り組むことを目指している。 たちが各々の音楽観に基づいてあえて取 というおそらく答えのない問いに、 私の授業は、ミュージックセラピーの セスについて考え、議論する。 実際のセラピーで展開され 他者との関係性構 「音楽とは何か 楽譜も手本も とくに演習 学生



最初

非言語交流の中でセラピストとクライエ

が互いの人格に影響を与えながら

自己を 境地

コットやビオンによる母子関係理論は、

ころでもある。

精神分析の関係理論、

とりわけウィニ

playingという単語の意味が包含すると 中にほどよくおさまる。またそれは、

音を連ねたり

授業における即興合奏の一風景 作業は、 重ねたりする

た学生 ど困難なよう 楽能力に秀で である。 のうちは、音 たちほ

> 語が行き交うようになる。確実に動き出し、豊かな ちが認識し始めたとき、彼女らの感性は間は成立しないのだということを学生たで遊ぶことができない限りセラピーの空 豊かな音と柔ら かな言

## 芸術媒体のコラボレーションに向けて

ちは、 目下の課題である。の可能性について考察することが 形態の特性を生かした統合的なセラピー 対照的である。このように、多様な芸術になること」を要請される音楽の場とは を整えることができるだろう。 ″立ち止まり″、 形作品の制作において、 る。 てられずに達成することができるのであは情緒や思考の形式化を、時間にせき立 できる。つまり、記憶の再構成、あるい中で開かれてくるのを十分に待つことがちは絵画を鑑賞するとき、知覚が自らの 採用できる見通しが生まれてくる。 えを深めると、 時間の一方向的な進行に沿って「創造的 しながら、それぞれの歩調で自己の内面 音を媒体とするセラピーについての考 同様に、 時間のせき立てから逃れて自由に **=において、クライエントた臨床場面における描画や造** あるいは、行きつ戻りつ。 必然的に他の芸術形態も これは、 私た

(いなだ まさみ) 未だ形にならないここ

ときには自ら

3

ときにはセ

楽器の音あるい ジックセラピ

パを自ら

②シャド

ーイング、

ディクテーショ

ンを

2006年度

中学3年

基礎英語2

(講師:長田哲男)

①英語をたくさん聞かせ、

話す活動

が中

2005年度

中学2年

2004年度

中学1年

新基礎英語

(講師:高橋一幸

使ってきたテキストを振り返って

ラッキーだったこの学年 うようになってきました。

たのが、時には授業の大部分を使って行 結果、扱う時間を10分程度にと考えてい ろいろなアクティビティ

ーも加えてきた

チベーションを維持発展させるため、 難しいことのように思います。

生徒のモ

して行う学習集団を見つけるのは確かに

を大きな声で行い、

ペアワークを嬉々と

高校3年生になってもシャド

イング

60

ラジオ講座を使う動機は

心の授業の組み立てをする

考えました。

ジオ講座を用いて授業を組み立てようと 合は1時間の授業の最初の部分をこのラ

③世間の水準を考慮に入れながらカリキ

2007年度

高校1年

レベルアップ英文法(講師:太田洋)

中学1年生から学ばせる

ュラムを考える

④特に授業の最初に利用し集中できる雰

2008年度

高校2年

徹底トレーニング英会話

(講師:岩村圭南)

英会話入門

(講師:遠山顕)

## ラジオ講座を活用しての 授業展開

### 昌春

(香里中学校·高等学校教諭

を試み、

その間、

音声指導中心の授業の組み立て その材料としてNHKのラジオ

講座を用いてきました。

学からなので、今年で6年目になります。

この学年の担当は彼ら・彼女らの中学入

現在、高校3年生を受け持っています。

高校3年生が嬉々としてペアワー

徒には配布するとは思いますが、私の場

どの学校でもNHKのラジオ講座を生

果をもたらしました。 本柱とした授業の組み立てが、 囲気を整える。 中学1年生でラジオ講座の導入を決め イング、ディクテーションを2 の4点です。 思わぬ効

2009年度

高校3年

入門ビジネス英語

(講師:エド・スミス)

は本当に救われた6年間でした。これか の授業でした。これからもいろいろな研 心配するくらい充実した彼ら・彼女らと して今回のようにうまくいくかなあ、と らこういう集団をもっとたくさん育てて かないといけないのでしょうが、 果た

doshisha.ac.jp) までお願いします。 学校・高等学校 ご助言いただけたら幸いです。 (mshinoda@kori 香里中

きるようにがんばります。

鑽を続け、またいい報告がこの誌面でで

また、 かな、 感じていたので、とても助かっています。 師:杉田敏)の方を使わないといけない 学年は本当に恵まれていると感じまし 新設された「レベルアップ英文法」、そ としても最適です。 験しないといけないのですが、 ており、当初「実践ビジネス英語」(講 昨年度までのテキストより中身が充実し になくなってしまった講座なので、この ことです。いずれも次の年度や近いうち して昨年度で終わってしまった「徹底ト たのは中学1年生で使った「新基礎英語 レーニング英会話」を使うことができた 」の面白さと、2006年度になって 6年間の流れを見たときに、幸運だ 今年度の 大学推薦に向けてTOEICを受 しかしちょっと難しすぎるな、 「入門ビジネス英語」も、 その練習 ع

## 今後の課題

徒の取り組みもよく、英検などの各テス2本柱で組み立てた授業構成ですが、生シャドーイングとディクテーションの といえるかもしれませんが、 TOEICも楽しみです)概ね成功した い結果が出ているので(今度の 課題もあり

はとても充実したのですが、他のリーデ 試みてみましたが、 それを克服する有効な方法として、 これだけでは力の成長が見込みにくい 段階では有効でも、 ことです。与えられたセンテンスをただ 短くしていかないといけないと感じまし すが、もう少しラジオ講座に割く時間を 飽きがこないような組み立てはいいので 間がかかりそうな気配でした。 義と理解を徹底するのには、まだまだ時 Dicto-compがあるのでそれも昨年度末 読む、暗記する、書くというのは、初期 ディクテーションも受け身の活動になる ったのも事実です。いろんな活動をして、 ィングなどの部分に時間が割きにくくな また、このラジオ講座の取り組み自体 一番の課題は、シャドーイングも 生徒にこの練習の意 高校上級生になると

## おわりに

組んでいます。 とおわかりでしょうが、 ての柱にと考え、 っても写真のように、 掲載された生徒の写真をご覧いただく 音声指導を授業の組み立 この生徒の前向きさに 皆、 高校3年生にな 積極的に取り

(しのだ まさはる)

中でパ シュート

スを受けることもできる。

が円の外からするが、

円

守備の範囲を広げるため)

トが外れたとき、

オフェンス

ト体勢に入れるが、ディフルがもどってくればそのま

シュー

トをする遠近感のト

-レーニン

楽しめる反面、

近すぎると高学年は

ルは高さがないため、 の外側からすること。

低学年でも (セストゴ

グが半減するため)

### 体育で子どもたちの こころとからだを元気に バルシューレABC ~ セストボール

ボールを運び、双方のコー・特徴は、ドリブルを使わずしール型ゲームである。この

リブルを使わずにパ

スのみで 主な

ムを組 大人)

温み立て、 のいない

問題を解決していく能力 中で、児童が全員でゲー

独動お

ールを取り入れ、

(教師

さらに同志社小学

62

を取り入れながらスキルアップをはかムである〝バルシューレABC〞の一部独自の子どもボールゲーム指導プログラ

ツ科学研究所のロート教授が考案した、 でにドイツ・ハイデルベルグ大学スポーまた、セストボールのゲームを行うま を高めることができるように配慮した。

でき、ゲーム運びに役立てばと考えてプクをセストボールに自然に生かすことが

ログラムに取り入れている。

り、

最終的にはバルシューレのテクニッ

ボールを運び、双方のコートの中央部に でのようなゴール(グラビア参照)にシュートし、得点を競うゲームである。従ュートし、得点を競うゲームである。従ュートし、得点を競うゲームであれいばゴールボードから前方180度のエリアでの攻防になるが、セストボールは3アでの攻防になるが、セストボールは3アでの攻防になるが、セストボールは3アでの攻防になるが、セストボールは3アでの攻防になるが、セストボールは3アでの攻防になるが、セストボールは3アでの攻防になるが、セストボールは3アでの攻防になるが、セストボールは3アでの攻防になるが、セストボールは3アでの攻防になるが、セストボールは3アである。 断能力を全員が高めることができるばかがつながらないため、ゲーム中の状況判立だけでなく、全員が動かなければパスある。このゲームは技能の高い特定の児 全員のパス&ラン、パス&キャッチの能 りか、運動量やボールに触る回数も多く、

本校の体育の基本は全員が動く機会を

できるだけ多く持つということに主眼を

力を高めることができるゲームであると

~同志社小学校特別ルセストボール

パス」 具を用 ルの台の上でボールを受けるゴール。学校体育でおこなわれているポート。動く機会を多く持つ考えから従来 ドマンをなくし、セスト マンやボ 、ルールが「ドリブルなしの全員に用いている。ガードマンは1人つけンをなくし、セストゴールという用ンやボールをはらって阻止するガー であるから、 相手方のゴー ス

という観点から。) ない。(全員にボールを触れさせるた全員にパスをまわさなければなら てきた場合は、 分たちのオフェンスプレーが途切 再びボールが自分たちにもどっ ゴー ルに近くてもま がわたり

ボー ボ なるが低学年も実施するため。) のは5歩までとする。(バスケットボールを持って歩いて(走って)よい ルでは3歩目にトラベリングと

学習

そのため、

そのため、ドリブルはバスケットボの意欲が低下することも考えられ

パスの大切さを学ぶ。

同志社小学校の特別ル

ルは、

おおよ

以下のとおりである。

シュートまでに必ずオフェンス全員

トは必ず、直径2m強ほどの

・ルの学習で実施し、セストボールでは

は、ボールにさわれない。人でドリブルをしシュー

ールにさわれない児童にとっては

トするプレー

に立つことになる。また、

ルにおいては運動能力の高い児童が1立つことになる。また、バスケットボ

めて敵のガード担当の児童がゴールの前

トチャンスがおとずれた時、

はじ

っととどまっていることはできな

- ボールの取り合いになったとき、 ち、 1 1 を短縮) ルでのジャンプボー -が落ちた(転がった)ボールを取り合いになった以外のプレイ1・2・3でボールを同時に離 プレイ再開。(バスケットボ . になった両名がボールを持の取り合いになったとき、取 ルをする時間
- (30センチ)下がった状態で守る。ディフェンスはオフェンスから1歩 びしいディフェンスは避ける) スする楽しさを理解させるため、 (オフェンスがボー ルをキ ープしパ

オーバーや5歩以上歩いても、その現象特別ルールではないオ

ことはお互い様、大目にみようという感ではなく、練習の一環であるから少々のられたらと思っている。大切な公式試合にすることを自然に児童に身につけさせ 決していく力がつけばとも考えてがぶつかりあい、教師の手を借りウルやルール違反はその都度子ど 覚である。 もちろんあまりにひどいファい様、大目にみようという感 ル違反はその都度子どもたち 教師の手を借りず、 1) る。

## 終わりに…

多少、 できるか)」が磨けると考え、あえてラ どう動けば危険を回避しながらプレイが 「位置感覚能力(自分が今、どこにいて、 が隣のコートと共通で、ぶつかったり、時間を多く持つ。本校ではサイドライン 全員が動き、少しでも長く体を動かせる どもたちがゲー インを隣同士共用している。 コー 危険を感じることも承知の上で、 ムではタイムキ トをぎりぎりまで使い、 トと共通で、ぶつかったり、 ムを組み立て進めて まで使い、クラスーみ立て進めていーピング以外は子

な様々な能力が養えればと思う。いっぱい走り回り、生きていく上で必要 いっぱい走り回り、生きていく上で必れを大切に、子どもたちが元気にコー ルシュー 本校が1年生から6年生まで学習する レ・セストボ ールプレーの流

ひろこ)